

開催日：2019年5月15日（水）10：30～12：30

リポーター：佐々木ゼミナール 佐々木信昭

- ・126人の出席。
- ・受験者数、合格者数、昨年とほぼ同じ。出願数は東京と神奈川で半々。146人が3回とも出願。
- ・香蘭が今年から入試を2回にしたので、併願校に香蘭が浮上。女子校だが共学校との併願が増えた。
- ・算数の標準偏差が他教科に比べ大きい。思考力、表現力問題を30%出す。来年から2月1日の午後に算数1科目入試を新設する。1日の1回目入試の100人の内の20人をこれに充てる。60分の試験時間、15時開始、16時開始の2パターン、22時に合格発表。
- ・来年から理科、社会の試験時間を10分プラスして40分にする。思考力問題を入れると30分では解き切れないため。
- ・午後受験、2回、3回で合格のボーダーライン近くだと合格にする。
- ・個人的にはしないが、塾には不合格の受験生の得点を大まかに開示する。
- ・帰国入試（国語算数または英語算数の選択）の英語は、英検2級程度。
- ・教科横断型授業、KAPLAブロックで数学と物理の両方から考える。ルーブリックの活用、STEAM教育。
- ・コアプログラムは学年毎にあり（例、中3キャリアデザイン）、マイプログラムは170講座から選ぶ（例、イタリア語会話）。
- ・生徒の活動の蓄積のためにクラッシーを導入。大学受験の出願にも活用。
- ・AO入試、推薦入試の増加、多方面に関心のある生徒の合格（国公立理系に28人現役合格）。
- ・学年の半分弱が理系志望、189人が現役進学。半分はMARCH以上に進学。昨年東工大、今年東大に推薦入試合格。
- ・海外大学指定校制度スタート。提携する大学の中には、奨学金授与の大学もある。高校生対象のニュージーランドターム留学も用意されている。

リポーターより

一般的な授業については触れられることは無かったです。推薦入試のためには、願書の書き直しを10回させたとか。これだけ生徒の面倒をみってくれる学校って素晴らしいですね。